

## トルコ産リンゴの有望な季節

FreshPlaza 2023年8月21日

サリックスフルーツ(Salix Fruits)社はトルコ産リンゴの出荷シーズンの開始を発表した。同社は今シーズンの生鮮リンゴを提供する準備ができており、さまざまな市場で生産者とバイヤーの期待が高まっている。

アダナ、カラマン、ウスパルタの各県及び北西地方の産地を回る中で、同社のチームは果樹園で熟練の準備作業が進んでいるのを見てきた。それは、有望なシーズンを予感させるものであった。

2022年に成功を収めた後、2023年シーズンの全体的な作柄予測は、数量の面で完全には明確でない。予備的な指標は、局地的な雹害が数件あり、また様々な程度の黒星病の問題を予想している生産者もいることから、今シーズンの輸出ペースが少し遅くなる可能性があることを示唆している。

これは、1級品が少し減り、国内市場向けの果実が増えることを意味するかも知れない。また、エギルディル地域(ウスパルタ県)周辺の果樹園では、1か月に及ぶ大雨の後、果実の褐変が増えるかも知れない。

アジア向け販売責任者であるハビエル・オルティ氏は、「それでも輸出市場向けの高品質な果実が十分にある。今シーズン始めの価格に関しては、出荷業者らは生産者の生産コストをいくらか気にかけているが、インフレと為替レートの変動により依然として不確実性がある」と言う。(以下「」は同氏の発言)

品種別では、インドを主要な出荷先として、レッドデリシャスが主体となる。ガラは毎年増えており、特にカラマン/ニーデ両県で新しい果樹園が成園化してきている。

「生産者らは、地域によって8月末から9月の第2週頃に収穫を開始すると見られる。グラニースミスは、グラニースミスチャレンジャー(突然変異種)を含め、特に北西部地域から良いものが出荷されると見られ、東南アジアで伸びる可能性がある。」

同社は、これらのほか、ふじ、ピンク系品種、ゴールドデンデリシャスも提供している。

「インド市場は過去5年間で大きな成長を遂げた。今シーズンは、同国の国内産が非常に少ないため、需要は良好であろう。インドへの輸入関税が引き下げられた米国ワシントン州産のリンゴの復活についてはいくらか懸念があるが、それでもトルコ産のレッドデリシャスはより競争力のある価格によってインド市場でその地位を獲得してきた。」

中東は多様なリンゴ品種の極めて重要な市場であり、東南アジアは特にガラとグラニースミスについて堅調な成長市場として浮上してきている。中南米諸国とタイは、可能性と成長が期待され、探求すべき道として台頭してきている。

「弊社がトルコから輸出する他の品目は、サクランボ及び核果類(シーズンが終了したところ)、イチジク(今から出荷)、ザクロ(9月に出荷開始予定)、柑橘類(レモンは9月から)等である。弊社はすでに取引先と販売計画について協議しており、素晴らしいシーズンを楽しみにしている。」